

池内紀 × 川本三郎

## にっぽん そぞろ歩き

第11回 雑誌あればこそ



多くの著書があるお二人は口をそろえて言います。締め切りのある雑誌があったからこそ長年書き続けてこられた、と。ウェブ媒体やスマホに主役の座を奪われた雑誌は、どこに行くのでしょうか。

## 台湾への旅

池内 六月号の「植物名には漢字併記を！」は、いい特集でしたね。

川本 面白かったですね。あれ以降、私もなるべく漢字で書くように心がけたんですが、これがなかなか書けないんです。荷風の『断腸亭日乗』を読むと、植物名は全部漢字で、しかも漢語で書かれているから、漢和辞典を引かないとわからない。杜鵑さつき花とか覆盆子いちじことか。いずれにしても、公園なんかの掲示板には、カタカナやひらがな以外に漢字も書いたほうがいいことは間違いないですよ。

池内 いわゆる学術名は専門家に必要なだけですから、それよりは、漢字があったほうが、植物名が覚えやす

い。

**編集部** 読み方を正しく伝えるためには仮名で表記するのがいいとはいえ、漢字もあつたほうが植物名を知る楽しさが増すのではないかと考えた特集でした。

池内 あの号は、評判がよかったのではないですか？

**編集部** 反響は、あつたようなないような……(苦笑)。

池内 川本さんは、台湾へ行っていらしたそうですね。暑かったですでしょうか？

川本 台湾は三月、四月くらいに行くのが気候的には最適なんですけど、六月はやはり暑さと湿気がすごい。台湾が夜型社会なのがよくわかりました。池内さんは、台湾にいらしたことはありませんか？

池内 一週間くらい滞在したことがあります。台湾の人は、夏になるとシャツの裾をクルクルめくり、お腹を出した状態で洗濯ばさみで留めて、木陰で昼寝するんです(笑)。あれは、涼しそうだと感心しました。

川本 台湾の人に『男はつらいよ』を観せると、寅さんの腹巻を見て「何ですか、あれ？」と驚きます。寒さからお腹を守るなんて発想が、ないんでしょうね。

**編集部** お二人は、アジアを旅行することもけっこうあるんですか？

川本 台湾には、ここ四年ほど、毎年行っています。池内 ほくは、台湾、香港、マカオの三カ所に行っただけです。

川本 今回の台湾は、行っている間の六日間はなんとか乗り切ったんですが、帰ってきてからは一週間以上ぐったりしてしまって、海外旅行も今回で最後かな、という感じがしました。池内さんは、最近も海外へは行かれますか？

池内 去年から行かなくなりました。成田へ行くだけでも大変ですから。いまは、一生分行ったからもういいかなと思っています。

川本 ロシアへサッカーを観に行く人は、よくそれだけのお金と時間と体力があるなあと思います。ロシアのワールドカップといえば、台湾の人たちが日本のユニフォームを着て応援しているのが、話題になりましたよね。台湾のチームは出場していないので、代わりに日本を応援してくれたようです。台湾の人は日本には非常に好意的で、かつての統治国なのになぜこんなに好いてくれるのか、本当に不思議です。

池内 日本の軍人はひどかったけれど、文化人には非常に優秀な先生たちがいた。戦後の台湾で活躍した